

「知的財産推進計画 2011」骨子に盛り込むべき事項について
～コンテンツ強化関連部分～
〈〈討議資料〉〉

- ※ これまでの議論や各方面からの意見を踏まえ、事務局で討議用として整理したもの。施策例は、あくまでも討議のための具体的イメージとして掲載。これらは、「知的財産推進計画 2010」に特に追加・強化すべきと考えられるもの。

平成23年2月10日

内閣官房知的財産戦略推進事務局

[現状認識]

- グローバルネットワーク化の急速な進展が経済社会に変換をもたらし、ビジネスのみならず、消費者の行動をも変えつつある。
- こうした中、デジタル化・ネットワーク化の進展によって、グローバルなネット上のコンテンツビジネスが本格化。この動きは、コンテンツ分野・経済社会全体に変革をもたらすものであるが、我が国の対応は遅れているのではないか。
プラットフォーム間の国際競争、クラウド型のコンテンツサービスの登場、過去の知的資産のアーカイブ化の進展、インターネット上の海賊版のグローバルな流通等
- クールジャパンは、グローバルな競争の中で、我が国経済成長の原動力となるものであり、政府を挙げた総合的な取組が必要ではないか。
- 我が国のコンテンツ人材を取り巻く環境は、引き続き厳しい状況にあるが、デジタル化・ネットワーク化やクールジャパンの推進に対応した人材強化が必要ではないか。
- 以上を踏まえ、「知的財産推進計画 2010」を着実に実行するとともに、デジタル化・ネットワーク化の強化、クールジャパンの推進の基盤となる人材育成の加速について、さらなる戦

略的展開を行う必要があるのではないか。

1. デジタル・ネットワーク社会の先端を切り拓く国となる。

[現状認識]

- グローバル化・ネットワーク化の進展によって経済社会を変革する可能性が広がり、グローバルなコンテンツのネットビジネスが急速に進展。
使いやすい端末やスマートテレビ等の登場を契機として、ジャンル・メディアを超えたコンテンツの融合、教育等の様々な分野への波及の可能性など、大きな変化の時期。
- グローバルなメガプラットフォームを目指した国際競争が開始。我が国コンテンツ産業にとって海外展開の大きな機会であるととも、正念場。
- さらに、過去の知的資産のデジタル化の動き、クラウド等新たなサービスの登場、グローバルなネット上の海賊版問題の深刻化等の国際的な動きが急速に進展。もはや国内外の区別自体が意味を持たなくなっている。
- これらの動きに対し、我が国の対応は遅れており、さらなる戦略的展開が必要なのではないか。その際、産業振興の観点のみならず、利用者視点も踏まえた検討が必要ではないか。

[目標指標] <検討中>

- (イ) 書籍をはじめコンテンツの電子配信をさらに促進するとともに、過去の知的資産をデジタル化・ネットワーク化して活用する。

[施策例]

○電子書籍の普及加速化

- ・ 出版者に対する権利付与の是非の検討も含め、著作者・出版者間の契約促進のための環境整備
- ・ 日本語に対応した中間ファイルフォーマットの策定・普及

○電子書籍の活用促進

- ・デジタル教材の導入促進や指導方法の研究開発

○我が国の過去の知的資産のデジタル化・ネットワーク化、活用

- ・民間ビジネスとの棲分を前提とし、国会図書館の過去の紙媒体のデジタルアーカイブの活用推進（公立図書館での館内閲覧やインターネットを通じた外部提供）
- ・放送番組の過去のアーカイブの活用促進
- ・様々なコンテンツのアーカイブのネットワーク化推進

(ロ) デジタル化・ネットワーク化推進を支える基盤を整備する。

[施策例]

- ・クラウド型配信促進のための制度上の課題の検討
- ・3D放送番組の促進

(ハ) グローバルな著作権侵害への対応を強化する。

[施策例]

- ・国際的な権利情報共有の仕組み等の課題について、国際的枠組における検討

2. クールジャパンを推進する。

[現状認識]

- グローバルネットワーク化の進展を背景に、文化的な要素を有するコンテンツ、モノ、サービス(クールジャパン)についてもグローバルな競争が始まっており、大きな機会。
- クールジャパンは国際的な競争力を有しており、経済成長の原動力となるもの。このためには海外に通用する価値を新たに創造し、国際的なビジネスモデルにつなげていくことが必要であるが、これまでは十分でなかった。

- クールジャパンの魅力を高め、アジア等の海外に対し総合的に展開するとともに、観光客等の増加による国内経済の活性化へとつなげていくことが必要。
- このためには、クールジャパンについて、発掘・創造、発信し、定着の各段階について総合的な施策の展開が必要ではないか。

※ 知的財産戦略本部企画委員会に設置された「クールジャパンに関する関係府省連絡会議」において、クールジャパン推進に関するアクションプランを現在検討中（3月を目途に策定予定）。

[目標指標] <検討中>

(イ) 海外に通用するクールジャパンの創造・発掘を促進する。

[施策例]

- ・ 地域・中小企業発の作品・産品・食等を表彰・発掘し、重点的に海外展開を支援する仕組みの創設
- ・ 国際共同製作に対する支援拡充や国際共同製作協定締結

(ロ) クールジャパンを海外のニーズに合わせて発信する。

[施策例]

- ・ 内外のイベントにおける発信強化
- ・ クールジャパンのイメージ戦略の策定、発信強化
- ・ 各国のニーズに基づいた海外への展開戦略の推進

(ハ) クールジャパンの人気を定着させる。

[施策例]

- ・ クールジャパンを活用した観光客の増加促進

(ニ) クールジャパンの海外展開のための障害を取り除く或い

は基盤を整備する。

[施策例]

- ・コンテンツや食等に関する海外規制の緩和・撤廃
- ・在外の関係機関・民間企業との連携体制の構築

3. 基盤となる人材育成を加速する。

[現状認識]

- コンテンツ人材を取り巻く環境は依然として厳しいが、グローバルなネットビジネスや、ネット上での作品の公表・共有サービスの進展、クールジャパンの推進は、大きな機会。
- デジタル化・ネットワーク化の進展や、クールジャパン推進の基盤となる、人材育成の加速が必要ではないか。

[目標指標] <検討中>

(イ) デジタル化・ネットワーク化に対応した創作基盤を強化する。

[施策例]

- ・パロディについての法的課題の検討等の二次創作の促進
- ・個人による引用紹介等の促進のための環境整備

(ロ) 世界に通用する人材育成基盤を強化する。

[施策例]

- ・ビジネス・プロデューサーの育成支援策の強化

(以上)